

平成 19 年度  
第 3 期 徳山地区地域審議会  
会 議 録

日 時：平成 19 年 11 月 5 日（月）

場 所：徳山保健センター 3 階 講義室 1

## 【会 議 次 第】

1 開会

2 市民憲章唱和

3 委嘱状の交付

4 市長あいさつ

5 委員の紹介

6 会長・副会長の選出

7 議事

(1) 地域審議会の概要について

(2) まちづくり総合計画「ひと・輝きプラン 周南」について

(3) 今後の審議会の運営について

8 閉会

## 平成19年度 第3期徳山地区地域審議会 会議録

- 日 時 平成19年11月5日(月) 午後14時～
- 場 所 徳山保健センター 3階 講義室1
- 出席者 ・委員 13名 (欠席2名)  
藤井 徳男、松村 千昭、重永 つゆ子、石田 睦子、藤井 和美、  
木船 淳雄、福原 和子、中村 俊孝、國富 晃、松原 邦夫、  
大寺 和美、清木 寛、野村 静男  
・島津周南市長  
・事務局 4名  
山下総合政策部長、中村企画課長、原田課長補佐、中村(充)
- 資 料 第3期委員名簿、地域審議会の概要(資料1)  
地域審議会の設置に関する協議書(資料2)  
徳山地区地域審議会からの提言について(資料3)  
地域審議会の運営について(資料4) まちづくり総合計画概要版、  
新市建設計画、新市建設計画ダイジェスト版

### 会 議 議 事 録

#### 1 開 会

#### 2 市民憲章唱和

#### 3 委嘱状の交付

#### 4 市長あいさつ(要約)

- 周南再生戦略会議等いろいろな機関がありますが、地域審議会は、最も重要なものの1つという認識でいます。
- 来年で合併5周年を迎えるが、ここで合併の検証をしてほしいと考えています。
- 徳山地区は区域が広いので、様々な問題を抱えて難しい区域とは思いますが、この審議会で出た結論については、予算化も含めて責任をもって対応していきたいと思っています。
- 会議に出席していただいた際には、自由闊達で前向きな議論を望んでいます。
- これからもよろしくお願い申し上げます。

#### 5 委員の紹介

(名簿順に委員の自己紹介、事務局の自己紹介)

## 6 会長・副会長の選出（要約）

（会長に中村俊孝委員、副会長に松原邦夫委員を選出）

## 7 議事（要約）

### （１）地域審議会の概要について

事務局 《資料１～２に沿って説明》

会長 ただいまのことについてご質問がありますか。

委員 この地域審議会は、４地区に設置され、そこで審議されたものを市長に答申するというのですが、４地区それぞれの審議内容・結果について、意見調整・意見交換をする場はありますか。

事務局 今までの諮問・答申につきましては、平成１６年度のまちづくり総合計画の策定の際に、４地区の審議会に諮問をさせていただき、それぞれで審議・答申していただいています。それについて、正副会長会議を開きまして、説明と調整をしています。

### （２）まちづくり総合計画「ひと・輝きプラン 周南」について

事務局 《資料のまちづくり総合計画概要版、新市建設計画ダイジェスト版に沿って説明》

会長 ただいまのことについて、ご質問がありますか。

委員 私は、この審議会において、何を重点的にやっていくのかということを考えてみました。審議会で何をしていくのかということを経験者間で徹底し、それを理解していくことが非常に重要だと感じたので、私が認識していることを確認したいと思います。私は、この地域審議会の性格を、市長の諮問を受けて議案を審議していく、各地域の問題点や課題など地域に関係する議案を審議する、地区ごとの問題点や課題などをお互いが認識し情報交換していく中でより良いまちづくりを創出していく、地区ごとの横の繋がりを大切にしてお互いが無駄を排して建設的な意見を出してまちづくりに貢献していく、と理解しています。説明を受けた内容は非常に膨大ですが審議会の開催期間は限られているので、ある程度地域に関係することを抽出して、始めの時点で何を審議するのかははっきりさせておくことが必要ではないかと感じました。

事務局 何をするのかということを経験者間で共有認識をもつというのは、非常に重要であると思います。第１期・第２期の地域審議会の時期というのは、合併して間もないこともあり、市政の進め方についても少し混乱がありましたが、この第３期から、今まで４年間やってきた事業や新市建設計画であげられた各地域の事業について、きちんと検証をしていこうと思います。そのためのデータをお示しする中で、徳山地区であれば徳山地区について、議論や検証をしていただきたいと思います。それが１番の重要なテーマであると思っています。

その後、今の平成１７年度から２１年度までの５年間の前期基本計画に代わって、

今度は平成22年度から26年度までの後期基本計画を作らなくてはなりません。新市建設計画の進捗状況を皆さんにきちんと見ていただくのと平行して、どのような後期基本計画をつくっていくのかということについてかなり真剣に議論していたかないと、その策定が難しいと思っています。

委員 第2期に委員をさせていただいて、やっと何を審議会がしているのかということが分かりました。市長からの諮問が1回もなかったのも、今期は新しい市長のもとでどういう形で出てくるのかなと思っています。

委員 「ひと・輝きプラン 周南」のまちづくりの基本理念のところ、2点質問があります。2番目に「市民と行政の協働によるまちづくりの推進」とあります。ここでいう「市民」というのは、周南市に住んでいる者ということだと思いますが、周南市で大きな構成要素になっている企業の立場からの色々な意見がこの総合計画にどのように反映されているのかということが1点。もう1点は、「各地域の特性を活かしつつ新たな発展を促すまちづくりの推進」ということで、4つの地域審議会がありますが、地域の特性というものを現状どのように認識されているのか、どういう特性があってどのようにしようと考えるのか、ということをお伺いしたいと思います。

事務局 「市民」というのは、周南市に住む個人はもちろん、企業や事業者についても含む概念となっています。この総合計画を作る際に、大手・中小各社にヒアリングをさせていただきまして、特に商工業や企業支援といった分野についてご意見を伺いました。

それから、地域の特性についてですが、例えば、合併前であれば、都市と農村の交流というものが別々の市町として行われていましたけれども、4つの市町が合併して1つの「まち」となることで、それぞれが連携して全体で交流ができるということになります。熊毛町であればツルが有名ですけれども、八代のツルは周南市のツルでもありますので、周南市全体のイメージの1つにあげることができます。このように、全体で色々なことが考えていけるということが一体感の醸成につながり、今後、地区の市民というのではなくて周南市の市民という気持ちになれるような施策を行っていきたいと考えています。

会長 市長のご挨拶の中で、初めて審議会の役割というものを私は認識しました。5年間経過したその進捗状況をきちんと検証してほしいということが、まずこの審議会に求められているということをはっきりと知りました。私の地域審議会のイメージは、広大無辺でどこから手をつけていいのか分からない曖昧模糊なものでした。この総合計画の文章にしても抽象名詞で具体性がなく、誰もが分かる言葉なのですがよくよく考えてみるとさっぱり分からない。「生き生き」とは何をもって生き生きなのか、「活力ある」とは何をもって活力なのか、そのような具体性がないところに問題があると思います。その具体性をどうしていくのかという問題もあります。

委員 具体性ということ言うと、企業では「現状こうなっているものを将来こうしよう」という具体的な数値目標が設定されますが、行政では、例えば「まちづくりの目標と施策の大綱」において、何を以て指標にするのかということが問題になります。いくつか代表的な指標について、「現状がこうなっていて何年後にこう

しよう」というようなものがあると、より具体的で進捗状況もわかりやすいのではないかと思います。そのことについて、市ではどのように考えていますか。

事務局 「まちづくりの目標と施策の大綱」では、5つの目標を掲げていますが、具体的には7ページ以降に前期基本計画として50ほどのもう少し小さい単位での項目が載っています。更に、それぞれの項目に対する施策を示しており、もう少し具体的にしています。

委員 それぞれの項目の中で具体的に数値化されたものが設定されているということですか。

事務局 今は行政評価システムの中で、総合計画に基づいた成果指標を出しています。

事務局 総合計画の施策体系の中で具体化されているということです。

事務局 行政が企業と違うのは、他の部門を抑えて、ある部門の数値目標を立てて集中投資をして人材も投入するという、戦略的な事業の進め方について不慣れなことです。財源もないのに色々なサービスを受け持ち過ぎたという状況になっていきます。それを一遍には廃止できないので、総合計画のように全部に対応するような形になっています。そのような行政の姿勢は限界にきているので、新市建設計画の検証を行うと同時に、後期基本計画では、総花的な計画が本当に良いのかということも含めて、もっとシビアに策定ができればと思っています。何をすればいいのかがはっきり決まってくると、明確な数値目標が出て、市民の皆様にも示すことができるということになります。今は余りにも事務事業が多過ぎるのです。そういったことで、市の内部の行政評価システムには具体的な目標が入っていますが、現時点で数値目標を全てお示しするのは難しいということです。

委員 当然、市の行政は、全ての市民に平等とはいかないまでも、できるだけ多くの方にメリットがあるようなことをやっていくというのが役割だと思いますが、それを満遍なくやると、メリハリがなく、何をやるのかははっきりしないし、何をやったのかははっきりしないということになってしまいます。しかし、そういう中で特にこういうことには力を入れてやりますというものをそれぞれの分野でいくつか絞り込んで、それについて目標を掲げてやっていくというようなやり方もあるのではないかと思います。

事務局 そこに最大のポイントがあって、周南市の総合計画が素晴らしいのは、「私たちが輝く」となっているところです。この総合計画は、「周南市役所」が実行するものではありません。市役所が実行するものもあるし、「市民」の皆様が実行するものもある。それは、あくまで個人ということではなくて、「公」の部分としてです。その整理をきちんとできるかどうかということに次の計画はかかっていると思いますので、段階的にそれを検討していくこの審議会は非常に大変なのではないかと思います。

委員 私は、老人クラブの総まとめをしております。老人クラブも早く合併できましたので5年を経過しました。一体感を持てるような事業を検討してくれということをお願いしてきました。それをやってきたつもりではありますが、なかなかそれを満足できずに、今もって完全な合併の体制がとれずにいるような現状にあ

ります。数多くの目標の中からどれを選び出していくのかというのは、非常に難しい問題とは思いますが、地域の団体がそれについての意思表示をしないと、なかなか前に進みにくいのではないかと思います。

(3) 今後の審議会の運営について

事務局 《資料4「地域審議会の運営」に沿って説明》

最初に、市長から合併の検証という話がありましたが、現在、市では新市建設計画に掲げられている事業の進捗状況を、目に見えやすく具体性のあるハード事業を中心に、各所管に調査をして整理しているところです。これは、合併してからある事業がどれだけ進んでいるのかということをもとめるものです。この地域審議会の基本は、新市建設計画の進捗状況をチェックしていくことですので、その調査結果を示し、それを基に議論をしていただきたいと思います。現在取りまとめ中ですので、年度内の次回の会議には、進捗状況をご説明したいと思っています。そうした検証の先に、22年度からの後期基本計画に検証結果をどのように反映していくかが課題として出てくると思いますので、まずは事務局として検証のための資料のご提供をしたいと思います。

会長 いつその資料が出るのですか。

事務局 年度内、来年3月までには審議会を開催してお示しをしたいと思います。

会長 言いつ放しではなく、1つか2つ具体性のある提言ができる審議会であってほしいと思います。委員の皆様はそれぞれお考えがあると思いますが、また次回にそのことをはっきり述べていただきたいと思います。また、資料は当日ではなくて事前に委員に発送していただく方がよいと思います。

委員 進捗状況を検証すると言っても、やっぱり優先順位というものがあると思いますが、新市建設計画に掲げられている事業全般について検証することになりますか。私は、駅周辺整備のことは1番にくるのではないかと考えていますので、周南市としてそれをどのように位置付けているのかということも知りたいところです。だから、そういうものの位置付けを考えながらの検証が必要ではないのかと考えました。

事務局 基本的には全てのことについてです。例えば、駅前の周辺整備事業について、合併していつ組織をつくり、その時どれだけ経費がかかったかということが出ます。まず組織をつくり、市としては最優先に取り組んだわけですが、諸般の事情によりということもありますので、全てを示そうと思います。

事務局 基本的には21のリーディングプロジェクトを中心に、他の事業についてもお示しすることになると思います。今の優先順位の中で、21のリーディングプロジェクトを中心にまとめ、特に重要なものには詳しい形での作成を検討してみたいと考えております。

委員 21のリーディングプロジェクトにしても膨大な数だと思います。私たちは行政に関わっていない者がほとんどなので、事前に資料をいただいたとしてもそれを理解するのに時間が掛かると思います。今までの審議会では、1年に3回、1

回2時間程度ですので、十分な検証ができないと思います。だから、地域審議会である程度優先順位を決めて審議していく方が良いのではないかと思います。

委員 優先順位をつけるのは大変難しいと思います。各団体からの要望もあるので、「これはやめる」、「これはトップだ」というのは、ちょっと難しいと思います。

委員 例えば新市の計画を作るときと現在とでは状況が変わっていることがあると思います。人口にしても、想定人口よりも減っているわけです。増えていくであろうという予測で決められたことが、結果として現状と合っていないということもあります。そういうこともチェックしていかないと、それを基礎に上積みしていても、将来的に狂いが生じてくると思います。

委員 行政として優先順位は決められないのであって、審議会が決めるのは良いのではないのでしょうか。問題はその事業にいくら予算がつくかということです。優先順位が高くてそれに充てるお金はないということもあります。それを行政から返答していただきたいということです。

委員 私も2年間携わってきて、最初は1つの審議会で行っていたのですが、項目が多いということで、安心・安全部会と地域格差部会とに分かれました。分かれてやっても、私はまだかなり問題点が残っていると思います。何か1つ決めてもらって、それから潰していく方が良いのではないかと思います。

委員 資料4に「徳山駅前再開発の審議ができなかった」とありますが、色々とテーマが多いとそのように審議できないものも出てきます。せっかく合併したので、徳山だけのことを考えるのではなく周南市のために何かをしなければならぬという目的を持ってやっていく必要があります。市民が何に困っているのかということをもみんなで審議して、それから手を付けていかないと、結局どれも解決できなくなってしまいます。せっかく合併したので、みんなでよく審議していく方が良いと思います。

委員 今までのお話を聞いていますと、かなり検討事項も多いし重要な案件も多いし、大変だなと思います。この審議会の開催回数というものは非常に限られているので、審議会という形で審議しても具体性に乏しい中途半端なものになってしまうと思います。そこで、私は部会制をとるべきではないかと思います。この審議会とは別にテーマごとに部会を設けて、そこからより具体的にそのことについて議論を深めていく方が今後運営していくうえで良いのではないかと思います。

委員 その部会というのは、テーマごとに、基本的に年3回の審議会とは別に、開催するということですね。

委員 そうです。あるテーマについて重点的に取り上げて市長に答申していこうということであれば、部会制にしないと難しいと思います。

会長 前は、テーマが拡大して争点が絞れなかったので、2つの部会を設置しました。こういう審議会は予算の問題がありますが、部会は予算とは関係なく委員の奉仕ということでやっていたわけです。

委員 ただ、前回の反省として、審議会として、予算化されている時は比較出席があるが、部会になると参加率が悪いということがありました。だから、皆さんが部会という形でやるということになると、高い意識を持っていないといけないと

というのが前提になるわけです。

会長 確かに出席率が2～3人でどうにもならないという事態がありました。それは、委員の方の良識により、その方向性が決まれば、それを信じて行うしか手立てはないと思います。皆さんそれぞれ役職等を持っていらっしゃるでしょうから、日程が合わないこともあります、それが余り多いと困るということです。

委員 私は、市民参画条例制定委員会に参加させていただいたのですが、全部で39回会議をしました。「何とか周南市を良くしていこう」という気持ちで皆さん委員になられていると思いますので、ある程度その部分は自分自身で協力していこうという意識でなければ、なかなか良い審議はできないのではないかと思います。是非そういう前向きな中で審議していただけたらと思います。

会長 時間の制約がありますので、運営方法についてまとめたいと思います。今回は、事務局から資料を提出していただいて、その時にどのテーマで部会を行うかということ審議したいと良いと思いますが、いかがですか。

委員 今、非常に良い意見が出ましたが、私も、そういう「周南市を良くしていこう」という気持ちがないと、実質的に意味のある提言はできないと思います。時間をお互い調整しながら、できるだけ審議会の頻度を重ねることが必要だと思います。今回は4月と言われると、今年の3分の1が終わってしまうということになりますから、ボランティアでも良いと思うので、今後の進め方を委員の中で議論する場をもう1回位、1月か2月に設けてもいいのではないのでしょうか。

会長 12月はお忙しいと思いますので、1月末頃に、場所をお借りして正式な審議会ではなく有志の集まりの会を開き、次回の正式な審議会につなげるというのはいかがでしょうか。

委員 運営方針が決まっていないうちに集まってもまた同じことになるのではないですか。

委員 今回は、例えば、このたび再任された委員の方から意見をお聞きして、それを踏まえて今後どうするのかということ話し合ったりして、我々内部の意見交換、ベクトル合わせをやることに意義があるのではないかと思います。

委員 「進捗状況のチェック」と、「前回と同じように具体的なものを提言していく」という、2本立てでやっていくのでしょうか。

委員 進捗状況を聞いていく中から、進捗状況だけではなく「これはいらぬのではないか」などの意見が出てきて、その中の大きな問題点を次の具体的なテーマに設定するという進め方もあります。

委員 それだと、これまで審議会に出ていないと分からないのではないのでしょうか。コミュニケーションを図る位であればいいと思います。

会長 今回は、意識を高める位の会合で良いのではないかと思います。そして、第2回目の正式な審議会では、事務局から資料が出ますので、それを見て、皆さんの関心事によって2つ3つ位のグループに分かれていただくというように考えておりますが、いかがでしょうか。

委員 《拍手》

会長 ご賛同いただきましたので、その方向性で1月中に、そういう場を設けた

いと思います。

委員 《各自の予定から、日程を相談し、1月23日水曜日16:00～(場所後日連絡)に決定》

会長 皆さんそれぞれの思いをお持ちだと思いますので、個々が意を持って参加して、また次回から、活発な論議・意見を発していただければありがたいと思います。とにかく周南市がより良いまちになっていただくための、少しでも皆さんが持っている知恵・アイデアを出していただけたらと思います。

## 8 閉 会